熱帯夜はマイプールで大ハシャギ

ガーデンプールでお・い・し・い夏を味わいたい

家

庭用プールなんて子供用だろ……、と思ってもらっちゃ困る。このガーデンプールは大人6名、子供なら10名がすっぽり入れる直径4570㎝の超大型ガーデンプールなのだ。ゴムボート用の素材を使っているからとても頑丈。付属の循環浄水ポンプを使うことで、一回水を入れたら10日前後はキレイな水を楽しめるという優れモノ。

これだけ充実したプールを子供用にするなんてもったいない！というわけで、今回は大人プールの遊び方を紹介しよう。

①庭、広いベランダに置けばそこはプライベートビーチに大変身。友人を集めてバーベQをやりつつプールに浮かる。怪獣のような子供がいる人だって、とりあえずプールに入れておけば勝手に遊んでくれるだろう。（ただし、必ず監視つきで！）

②彼女を呼んでふたりっきりでプールを楽しむ。「近所の目が非常に気になる」という人にはナイトプールをオススメしたい。照明がないと真っ暗闇になってしまうから、間接照明をひとつ用意。それを近くの木にでも設置すればOK。柔らかい照明の下でイチャイチャするもよし、浮き輪を使って水辺を漂うもよし。

③ガーデンプールの本領が最も発揮される場所、それはズバリ、キャンプ場。大自然の中でフレッシュな空気を吸い、美味しいビールを飲みながらプールに浸かる歓び……。これはかりはやった人しか分からないんだが、最高なのだ！

①～②で提案した遊び方ももちろんいいが、マックスに気持ちいい環境はキャンプ場だろう。みんなでワイワイと組み立てる段階からすでに楽しいし、昼間は近くの海へ繰りだし、夜はキャンプ場のマイプールでゆっくりとその日の疲れを癒す。海水でも塩素でもない水だから、眼くなったらささっと体を拭いて床につけばいい。寝たくないヤツは朝までプールに漂っていればいい。今年のナンバは「うちのガーデンプールに浸からない？」でキマリだろう!!。

価格12万円。
問ブロンコビリー
☎045(253)7941

Summer Madness
大特集 夏の新製品情報

誰よ～、プールの中に餌を放流したのは!!

水量9693ℓてコトはお風呂ン杯!?

一回水を入れたら10日間は遊べるね♡

水深91㎝まで入るから潜水の練習もできる！

だんだん暑くなってきて、夏気分も盛り上がってきた！。がしかし、海やプールに足を運んでみたものの、なんだか物足りない……。そんなあなたに新提案！どこでも楽しめる超巨大ガーデンプールを使って、庭で、ベランダで、キャンプ場で大人のサマータイムを満喫するのだ。

PHOTO/TANABE shinji
TEXT/MIYAMA yukari
MODEL/TAKEISHI michiko
TOGAWA hanae

全体を覆うカバーも付属。口をしっかりと締められるので多少の風でも安心。虫やゴミが入りにくくなるだけでなく、未使用時の子供の事故防止にもなる。

こうしてセッティング

組み立て10分！そして水入れ……

①ゴムボート素材の丈夫なプールと水を清潔に保つ循環浄水ポンプ、簡易ラダーをセット。クルマのトランクに収まるパッケージだ。

②プールを置く付近に破損の原因となる砂利や木片がないかを確認。また撤収する時のことを考え、平地で排水ができる場所を選ぼう。

③設置場所が決まったら、付属のグランドシートを広げる。これはプール本体の汚れ防止、キズ防止、歩行スペース確保のため。

④シワを伸ばしながら本体を広げていく。プールの中心がキチンとグランドシートのセンターに来るようにセッティングしよう。

⑤プール上部のリング部分に空気を入れ、しっかりと膨らませる。この空気入れはセットに含まれていないので別途用意されたし！

⑥プール内部にあるフィルターポンプ用の穴を見つけ、循環浄水ポンプを設置する。これをつけることで約10日間水を清潔に保つことが可能。

⑦いよいよプールに注水開始！水が溜まるまでの間しばらく時間があるので、付属の簡易ラダーを組み立てておこう。

⑧水が2～3㎝まで溜まったら、プールの内側&外側からゆっくりとシワを伸ばし形を整える。あとはひたすら水が溜まるのを待つべし!!

まだまだ続く新製品情報 このつづきはP.56から